



ますます人気 信州サーモン

5/30 信州サーモン稚魚初出荷

今年初めてとなる信州サーモンの稚魚の出荷が5月30日、明科七貴の県水産試験場押野試験池で行われました。この日は佐久穂町で養殖業を営む佐々木信幸さんが試験池を訪れ1万4000匹の稚魚をトラックに積み込みました。稚魚は養魚場で約2年から3年掛けて育てられ、60センチほどに成長すると出荷されます。佐々木さんは「信州サーモンは臭みもなくうまみがあり、とても人気が高い魚です。東京のイタリアンレストランからも注文があります」と話してくれました。



市民総出で、ごみ拾いに汗

5/27 市内一斉清掃

市内一斉清掃作業が5月27日、市内各地域で行われました。この日は天候に恵まれ、地域や市民団体、企業、学校などの呼びかけで延べ1万5千人の市民が参加し、身近な道路や河川、公園などに捨てられたごみを拾いました。集められたごみは、空き缶やペットボトルが多く、中にはパソコンや掃除機、タイヤなどの粗大ごみもありました。昨年度は集計の結果、回収量はおよそ7トンにもなりました。一斉清掃は、観光客が多く訪れる秋にも行われます。

11分団2部と13分団1部が優勝

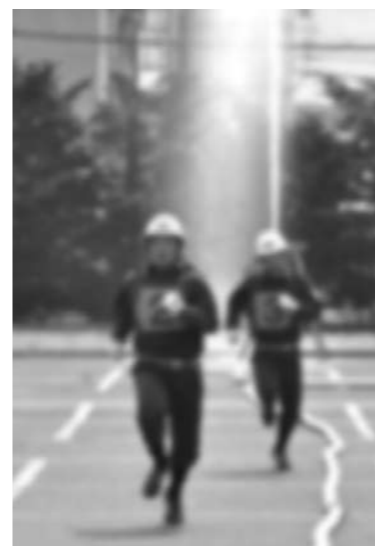
6/3 市消防団ポンプ操法大会

市消防団ポンプ操法大会が6月3日、市内の王子チヨダコンテナ(株)敷地で実施されました。

この日はポンプ車操法の部に6チーム、小型ポンプ操法の部に10チームが参加し、仕事の傍ら練習に励んできた選手の皆さんが、操作の迅速さ・正確さを競い合いました。ポンプ車操法の部は、第11分団第2部(穂高)が優勝し、第14分団(三郷)が準優勝、小型ポンプ操法の部は第13分団第1部(掘金)が優勝、第4分団(豊科)が準優勝しました。

この4チームと音楽喇叭隊は7月1日に三郷文化公園グランドを主会場に開催される松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会へ出場します。

小型ポンプ操法の部優勝の第13分団第1部主将の髙塚浩一さんは「優勝できてとてもうれしい。地元開催となる協会大会も優勝目指し頑張りたい」と次の大会への意気込みを話してくれました。



心を込め花でお出迎え

5/26 アルプス花街道一斉定植

アルプス花街道実行委員会(等々力秀和会長)によるマリーゴールドの一斉定植が5月26日、豊科インターから県道柏矢町田沢停車場線の区間などで行われました。本年は91団体約1,600人が参加。市内10カ所、約9kmの長さで定植されました。この取り組みは、安曇野を訪れる皆さんを花で迎えようと、市民・企業などが協力して行っています。

職場の仲間と参加した丸山律子さん(豊科高家)は、「花の手入れが好きなので毎年参加しています。道行く人から『きれいに咲いていますね』と声を掛けてもらったことがうれしかったです」と話し、笑顔で作業をしていました。植えられたマリーゴールドは、7月から9月にかけて見ごろを迎えます。



ロケ地 そばの花を楽しんで

5/25 「おひさま」ロケ地にそばの種まき

連続テレビ小説「おひさま」のロケ地となった国営アルプスあづみの公園の事業用地2.5ヘクタールに5月25日、そばの種がまかれました。今回まいたそばは、白い可憐な花を咲かせる品種で、6月の下旬から7月の上旬に見ごろを迎えます。そば畑の整備は、同ドラマの放映をきっかけに昨年からはじまったもので、昨年4月から12月の間このロケ地には、約10万人の観光客が訪れました。今年も白い花のじゅうたんが、訪れた人の目を楽しませてくれそうです。



ほんのり甘い初夏の味を楽しむ

5/27 第24回あかしや祭り

第24回あかしや祭りが5月27日、豊科南穂高の安曇野の里で行われました。この催しは、万水川一帯のアカシアの花が咲くころに地元の地域住民が主体となり、毎年開催しています。この日は、市内外から家族連れなど約2000人が来場。会場では、地元で採れた玉ねぎなどの特産品や伊勢志摩の海産物の直送販売、名水のお茶のサービスやニジマスのつかみ取りなどが行われました。

祭りの名物でもあるアカシアの花の天ぷら試食コーナーでは、大勢の人が集まっています。家族と訪れた籠井恵則さん(富山市)は「アカシアの花は初めて食べました。くせがなく、ほんのり花の甘い香りがしておいしいです」と話してくれました。